



あかさか・あつし ●昭和56年1月生まれ。渡瀬字中野町在住。(株)Gozaru(渡瀬字中野町)経営。趣味は酒飲み。座右の銘は「苦あれば楽あり」。

「鮫川村に住みつきたいと思います」
中学一年生のとき、全校集会で「鮫川村にこれから住んでいきたいか」と急に質問され、緊張しながらとっさに出した私の言葉です。大変赤面し、全クラスから笑い上がったのを覚えていません。
それから早いもので二十年。僕は鮫川村に帰ってきました。高校を卒業したあと地元を離れ、人より少し長い学生時代を経て、地元のディーラーに就職して五年、あることを機に三年前に鮫川村へ帰ってきました。
帰ってくる、前々から誘いがあつた保険の研修生制度に迷いながらもチャレンジ。研修生と言っても給料は自分で稼いでいく制度で、ほぼ自営業です。営業経験の全くなかった私は毎日がとても辛かったです。それから三年間、いろいろな経験を経て、たくさんの方々、家族の支えがあつて八月から代理店として起業させて頂くことができました。お客様の「もしも」の時

村民【随想】リレー — (181)

赤坂 淳さん

鮫川に帰ってきて

に寄り添える、一生のお付き合いができるこの仕事に誇りと使命感を持って取り組んでいます。
また、地元に戻ったことを機に消防団、商工会青年部に入らせて頂きました。消防では、まだまだひよつ子者ですが、地元の防災活動に携われることに誇りを感じています。商工会青年部活動では、地域を良くするにはどうすればよいか、子どもたちが誇れる村にするにはどうすればよいかなどを自分たちの言動、行動で示せるので、とてもやりがいがあります。最近では「若者交流事業」と銘打って、村内外の人たちに鮫川村を知り、好きになつてもらうために活動しています。
僕力ですが、仕事やさまざまな活動を通じて、「鮫川村は変わった、住みやすくなった、よくなった」と言ってもらえるような村にしていきたいです。

次は、鈴木隆さん(赤坂東野字大石草にバトンタッチ！)

さめがわを 彩る集い 14

自分のため家族のために健康でいたい



ピラティス西野教室

代表 石井とよ子/会員6名

ピラティスとは、胸式呼吸とストレッツを組み合わせて体幹を鍛えるもの。健康づくり教室でピラティスを体験して、継続したいと思いついたことがきっかけとなり、稲妻由紀さん(渡瀬)を講師に週一回、「自分の健康のために」と続けています。
激しい運動をするわけではありませんが、ゆっくりと筋肉を伸ばしたりほぐしたりすることで、体の内側から温まり爽快感が得られます。始めて一年半、肩や膝腰の痛みなどが和らぎ、体が楽になつたと実感。つらい動きのときは「早く終わってほしい」と思いますが、「これも自分のため」と言い聞かせています。「一人では同じようにはできませんが、みんなで集まってやるから続けられます。健康あつてこそ生活なので、自分のため、家族のためにこれからも取り組んでいきたいです」と話してくれました。

あの時はああすれば良かった等として悔む一日に降り光る雨 関根 瑞恵
作物が待つと思えば足も軽く今朝も出てゆく畑の道へ 溝井 清乃
有機質肥料に変えて味の良き野菜に作るも愉しみの一つ 坂本 伊紀
一日が宝玉のように思い出づり 少なき人生なれば 一平 子
暑ささけ部屋に佇み一人居の静かなひと時 遺影に語りぬ 石井 幸子
自然界儘にはならず現状に振り回される人それぞれに 須藤シツエ
夢もなく希望も失せた高齢者母屋に一人灯をともしすなり 松本 一郎
わが国の富士山世界の遺産にと決定される歓喜の六月 前田喜三子
余念なく蜘蛛が糸張る夕暮れの風 爽やかに糸の揺れ居る 藤田千代子
谷川の河鹿蛙の鳴く声を露天の風呂にてしばし聞きいる 関根ハナヨ
乾ききる農地に恵みの雨の降り生 気戻りぬ野菜と共に 関根 富久
晴れ渡る朝風受けて畦行けば羽化のトンボに出会って佇む 板橋 源良
二十八センチの靴履く孫とある暮らし今夜も安けき心に眠る 関根キヌ子
挨拶を交わす中にも雨乞えの文明の世と云い気象の儘に 矢吹 一二
久し振り降る雨頼りの農吾は鉄持ち見回る田畑の如何にと 北條 平

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します
鮫川村図書館 ☎ 29-1150

ゾーンにて

(田口ランディ著、文藝春秋)

福島第一原子力発電所から半径20km圏内の警戒区域。人が立ち入ることのできないゾーンに住むものたちの命の輝き、震災で人生の方向転換を余儀なくされた人々の思いを描いた珠玉の4篇です。

今やる人になる40の習慣

(林修著、宝島社)

「いつやるか?今でしょ!」とブレイク中の著者。何事にもグズグズしないで「今やる!」ことの重要性を説きます。やらないといけないのは分かっているのに先送りにして後悔、失敗してしまう、そうならないために40の習慣を教えます。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

俳句

短歌

若者の広場 No.104

Young Plaza

■今、夢中になっていることは何ですか？

海釣りです。3カ月くらい前から友達に誘われて始めました。週1回くらいは船に乗って沖釣りをしています。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

漠然とトラックの運転手をやりたいと思っているので、大型自動車の免許を取りたいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

鮫川村は優しくて、フレ

ンドリーな人が多いと思います。接客をしているときにみんな気軽に話しかけてくれます。

■これからの鮫川村に望むことはありますか？

仕事をしていると道を聞かれることが多いです。鮫川村は目印になるようなものも少ないので、村外の人でも分かりやすいように案内標識などを増やしてほしいです。あとは、若い人たちが楽しめるような施設などができるといいですね。

次は藤田秀則さん（渡瀬字田尻在住）の予定です。

矢吹圭佑さん



やぶき・けいすけ
平成2年2月11日生まれ 23歳
O型 みずがめ座
趣味は海釣り
赤坂西野字前折戸在住

鮫川村は優しい人たちが多く

■親子でテーブルマナー教室
食育授業のあとは、親子でテーブルマナー（イギリス式）を学習しました。ウエイターやウエイトレスは先生方。「スープは音を立てないで飲む」「食べ終わったらナイフとフォークは真ん中にそろえ

■食事の内容を見つめ直そう
同じエネルギーを摂取しても、ファストフードや菓子パンのみの食事は栄養に偏りがあることを学び、最後は「野菜たっぷりみそ汁」が効果的！ということを実感しました。明日からの食事の内容が変わりそうです。

■親子で食育の大切さを学習
七月五日、食育の大切さを取り上げた授業参観を実施しました。講師は学校給食センターの栄養技師・芳賀公美先生です。全家庭が参加し、親子で熱心に学習しました。

学校だより

(106)

青生野小学校編



楽しく会食しながらマナーを学んだ親子

る」など、体験しながらマナーを習得しました。

■鮫川村の民話を聞こう

食育授業のあとは、家庭教育学級を学級を行いました。さめがわ民話の会の方々を招き、鮫川の民話、特に青生野地区にまつわる語りを聞きました。おばあちゃんたちが語るその喜怒哀楽の表現や方言の面白さに生徒や保護者、教師もどきどき引込まれていきましました。「また聞きたーい！」と目を輝かせていたのが印象的でした。

（文・写真／青生野小学校）



語りべによる民話を聞いた家庭教育学級

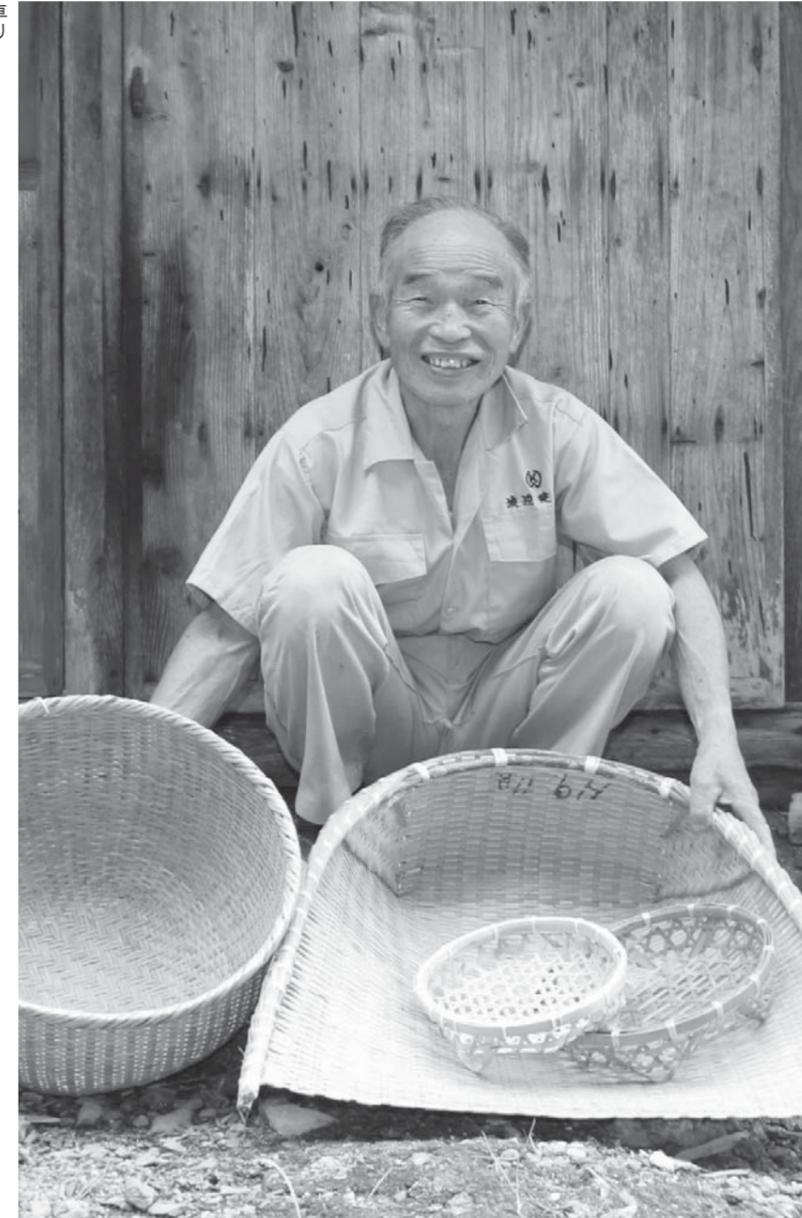
「箕」を始め、タンガラや風車などさまざまな竹細工を作ります。

竹

細工を作って五十年以上になるという緑川末治さんは、平成九年に村文化祭に「箕」を出品し最優秀賞を受賞したほか、公民館事業の指導者を依頼されることもあります。小さいころから工事が好きだった末治さんは、冬期間など外で仕事ができな

いときに竹細工を始めました。材料となる竹は、水分が抜ける秋の彼岸から春の彼岸にかけて集めます。それを削いで砂で研磨し、しっかりと水分が抜けるまで乾燥させます。実際にカゴなどを編む際には、「角」が大切だと話す末治さん。一番壊れやすい部分のため、竹の節がこないように考えながら編んでいきます。長年の経験が成せる技です。また、作ったカゴなどを自分で

使ってみて使い心地を確かめ、さらに使いやすく丈夫にと改良を加えてきました。これまでに数え切れないほどの竹細工を作ってきた末治さんですが、「百点満点」ということはないといいます。さらにきれいに丈夫にと試行錯誤し続けています。それが竹細工に限らず、物づくりの魅力だと教えてくれました。



むらの名人・達人 Vol.13

竹細工 緑川末治さん

みどりかわ・すえじ／赤坂東野字内ヶ竜在住／85歳

いくつ作っても「百点満点」はないよりきれいで丈夫なものを

長年の経験を生かし竹を編んでいく末治さん。小さいカゴなどは2日間で完成します。